

Factory Assessment Service -Smart Manufacturing & Operations-

製造現場のDXをデータを活用して高度化するための現状把握と将来像の可視化を支援

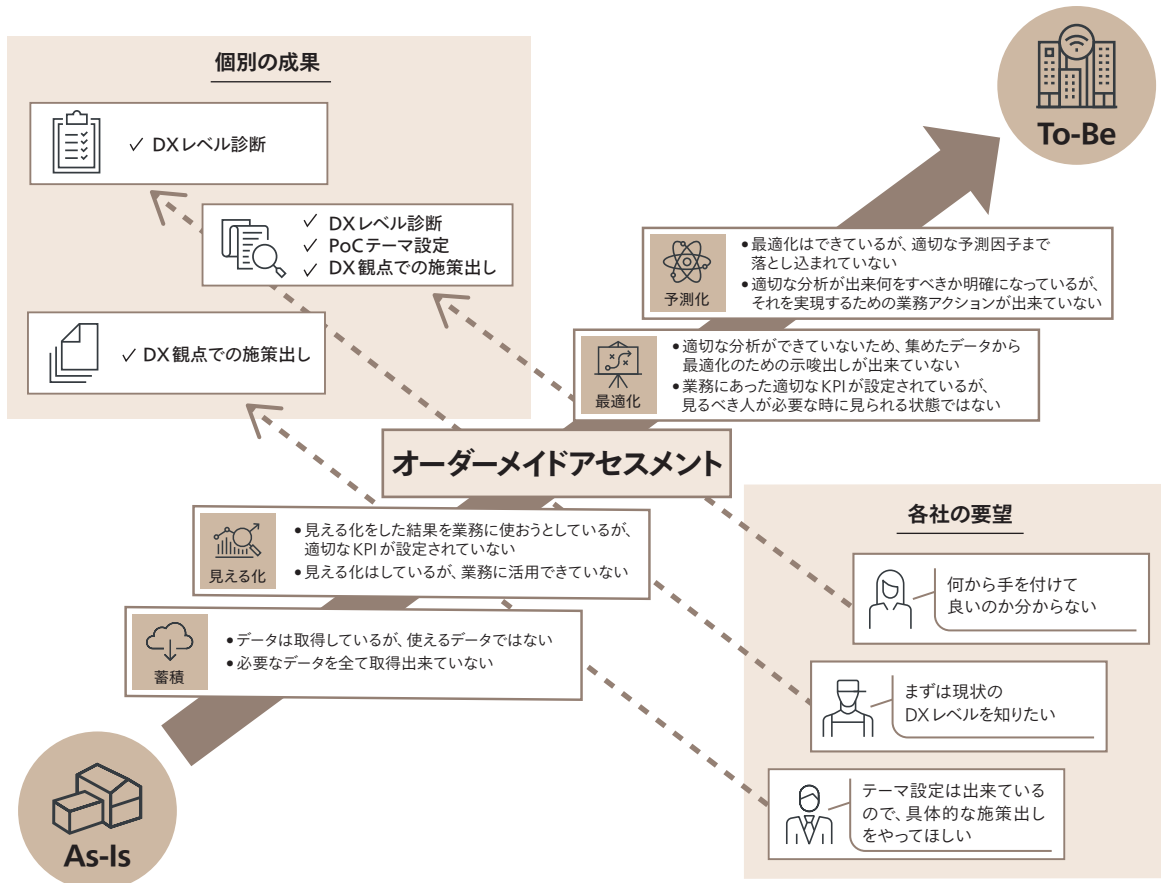
社会や顧客・エンドユーザーのニーズ変化への柔軟な生産対応や働き手の減少などの難題を克服するべく、製造業では生産性向上・業務効率化が必須となっており、「各工程の作業時間のデータ収集」、「データ解析による投入材料のミニマム化」、「設備異常予知によるトラブル未然防止」などデータを活用した製造現場のDXに着手し始めています。一方で、収集したデータの適切な活用方法、業務改善への転換方法が分からず苦戦しているケースが散見されます。アビームコンサルティングは、DXの実現水準の現状把握と目指す姿を可視化するアセスメントサービスを提供します。製造現場におけるDXプロジェクト経験で得たデータ取得から活用までの総合的な知見と実績をもとに、データ活用における課題設定と費用対効果を考慮したPoCテーマの選定までを支援し、製造現場のDX(データ活用)の高次元化を実現します。

製造現場においてDXが進まない真因

データを効果的に活用した製造業のDXを成功させるためには、自社課題・DX活用目的・施策を整理した上でDXサービスを適用する必要がありますが、DX一連の構想を描ける知見がないためにこれらに対応でき、または経験が不足しているため課題整理まで出来てもDX活用目的・施策まで落とし込めず成果を得られないケースを多く目の当たります。これらの解決のためにはお客様個々の進捗に応じ不足する施策の検討を行う必要があります。

サービスの概要

アビームコンサルティングは、DXの実現水準の現状を把握するDXレベル診断により現状の姿を明確にし、業界や市場のトレンド、DXの知見を取り入れた議論により将来目指す姿を明確にすることで企業ごとのニーズに沿った問題解決と目的達成に向けた施策を策定します。様々な業界出身者の知見・経験、豊富なアセットを活用し、お客様個々の現在地に応じたオーダーメイドなアセスメントサービスを提供することで、これまでのお客様の取り組みも活かしたDX成功までの道筋を示します。



アビームコンサルティングの提供価値

アビームコンサルティングは、幅広い業界における業務知見、エッジ〜クラウド・システム領域の知見、豊富なDX知見を有しており、あらゆる製造業界のDXの勘所を押さえたご支援が可能です。DX進捗を段階的に捉え、各ステップで取り組むべきことを体系的に整理した上で、お客様の進捗に応じた内容を選定しサービスを提供します。また、データ活用の課題・施策の設定後に貴社にて施策の実行・運用を円滑に推進できる体制を考慮し、お客様のこれまでの取り組みをベースにした支援を実施します。

自社DXレベルを基にした、
実現可能な目標設定と
課題の明確化

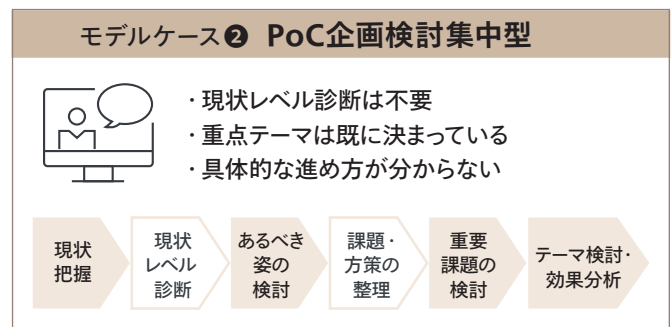
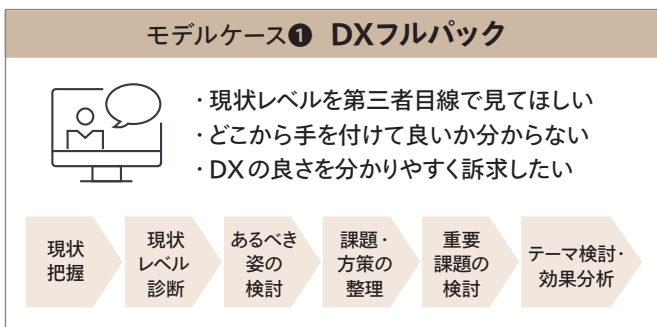
幅広い業界出身者の視点で
個別の要望・状況に沿った
計画作成

経験に裏付けされた約300の
打ち手を活用し課題解決に
直結する有効な手法の提供

アプローチ

お客様のニーズや状況に合わせた目標設定、進め方のカスタマイズが可能です。

現状把握	現状レベル診断	あるべき姿の検討	課題・方策の整理	重要課題の検討	テーマ検討・効果分析
<ul style="list-style-type: none"> ✓ ヒアリング / 同業他社調査 ✓ 事前アンケート / 資料の内容把握と想定課題検討 ✓ 工場見学準備 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 工場見学 ✓ 製造工程現状調査 (設備/システム含む) と課題抽出 ✓ 現状のスマート化レベルの検討・評価 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 目指す姿の方向性の検討・将来の工場の姿を議論 ✓ KGI/KPIの目標値設定 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 目指す姿と現状レベルから課題の整理 ✓ 課題に対する方策の検討・整理 ✓ 必要なアセットの明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 目的別 (品質、生産性など) に課題解決した場合の波及効果を分析 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 各方策のインパクト・実現性・費用対効果からPoCテーマを選定 ✓ PoCテーマ具体的内容検討



アセスメントの代表例

アビームコンサルティングでは下記の様に、アセスメントを通して明確になった課題をデータ活用により解決した実績を有しています。

徹底的なdata drivenによる品質向上

製造メーカー、期間：3か月

顧客要望

運搬や加工の自動化は進んでいる一方、製造条件設定や検査などは属人的になっており、不良発生や次工程流出など多く発生している。品質改善に向けた具体的な施策を教えてください。

工場長、工場ライン管理者、QC

成果

品質改善の観点で全工程を確認し課題を明確化し、DX観点での施策出しを行った。並行して効果インパクトの検証も行い、最も品質改善効果の高いPoCテーマ（「加工条件最適化による品質改善」）を設定した。

外部の力を活用した重点テーマの取り組み高度化

製造メーカー、期間：1.5か月

顧客要望

現状のレベル診断は不要である。中期計画において、XXとXXが重点テーマだと決まっており、それらを着実に遂行するために、課題を明確化し具体的なPoCテーマを提示してほしい。

工場ライン管理者、生産管理

成果

重点テーマの解決にはDXの力が必要なのは分かっているが、それを分かる人材がおらず計画の具体化ができない点が課題であった。現状DXレベルを把握し、アプローチを肉付けしてPoC計画書に落とし込んだ。